

(2) 予測方法

① 予測対象種の選定

予測対象種は、表-6.10.2(2)に示す重要な河川水生生物種に該当するもののうち、調査で確認した77種のうち、陸上動物の項目において既に予測対象種として検討を行った甲殻類5種（オオナキオカヤドカリ、オカヤドカリ、コムラサキオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリ）を除く72種（表-6.10.2(3)）とした。

表-6.10.2(2) 重要な河川水生生物種の選定基準

- ア) 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」（2000～2002年 環境庁）及び「無脊椎動物(昆虫類、クモ類、貝類、甲殻類)のレッドリストの見直しについて」（2000年環境庁）の中で絶滅危惧ⅠA類、絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、地域個体群に選定されているもの
- イ) 「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物－レッドデータおきなわ－」（1996年 沖縄県）の中で絶滅危惧種、危急種、希少種、地域個体群に選定されているもの
- ウ) 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律第75号）の中で国際希少野生動植物種、国内希少野生動植物種に指定されているもの
- エ) 特別天然記念物、国指定天然記念物、沖縄県指定天然記念物に指定されている種
- オ) 「WWF Japan Science Report Vol.3(1996) 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状」（1996年 WWF）の中で絶滅寸前、危険、希少に指定されているもの。